



2024年10月31日

各位

会社名 ウェーブロックホールディングス株式会社
代表取締役兼執行役員社長 石原 智憲
(コード番号：7940 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 全社統括部長 市井 栄治
(TEL. 03-6830-6000)

第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異（2024年4月1日～2024年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株あたり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,000	百万円 200	百万円 450	百万円 340	円銭 40.30
今回実績 (B)	12,871	289	604	403	47.81
増減額 (B-A)	871	89	154	63	
増減率 (%)	7.3%	44.5%	34.2%	18.7%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期中間期)	11,774	476	638	427	50.63

2. 差異の理由

2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績につきましては、国内において、猛暑の影響による遮熱・遮光網の出荷が大きく増加し、家庭用防虫網の低調を補いました。また、金属調加飾フィルム分野において、北米での車載エンブレム案件の量産開始、インド、東南アジア、中国での採用増加等が大きく貢献し、売上高は前回予想を超える結果となりました。あわせて生産効率の向上による原価低減や販管費の削減が寄与した結果、営業利益が業績予想を89百万円上回りました。加えて、当社グループが保有する外貨建て資産に対し、為替相場が前期末と比較し円安に推移したことによる為替差益の増加が寄与し、経常利益が154百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が63百万円それぞれ業績予想を上回りました。

通期の連結業績予想につきましては、上期における堅調トレンドは継続すると予想するものの、原材料やインフラコスト上昇に起因する製造コストの増加、世界的なEV需要トレンドの変化とそれに伴う生産調整、金融資本市場の変動や不安定な為替相場などによる影響等が不透明なことから、前回予想を据え置いております。

引き続き業績動向を注視し、今後、業績予想を修正する必要がある場合には速やかにお知らせいたします。

以上